事例No.	1679
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	兵庫県神戸市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	PPP/PFI

事例内容・タイトル

PFI手法を用いた浄水場の再整備事業

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【兵庫県神戸市】
PFI手法を用いた浄水場の再整備事業

PPP/PFI　水道事業

兵庫県神戸市水道局

● 取組の概要

老朽化した浄水場の再整備にあたり、 設計、建設、運転管理業務までを一括して民間事業者に委託するPFI手法（BTO方式）を採用した。

◆総事業費　14,849,056千円（契約締結時）

◆背景

- 大正6年に供用を開始した上ヶ原浄水場は施設の老朽化が進んでいたことから、抜本的な更新が必要であった。一方、給水収益の減少により、建設コストの縮減や効率的な施設運用が課題となっていた。
- この課題を解決するため、官民連携を積極的に活用した再整備手法について検討を重ねた結果、PFI手法を活用して再整備する方針に至った。

◆具体的内容

- 設計・施工・運転管理までを一括して民間事業者に委ねるPFI手法（BTO方式）を導入した。

  設計施工期間：令和2年3月～令和8年7月

  運転管理期間：令和8年8月～令和23年7月（15年間）

  最大処理水量：70,000m³/日（急速ろ過＋粒状活性炭処理）

◆効果

- PFIの導入により、直営に比べて事業費が削減された（契約締結時VFM9.6%：建設事業費▲約1,123,511千円、運転維持管理費▲約281,200千円/15年）。
- 事業者提案により、施設を階層構造とするなど、コンパクトで維持管理性に優れた施設配置が可能となった。

● 取組のポイント

- PFI手法とすることで、次の効果が期待できる。

① 運転管理や維持管理を見据えた合理的な設計・施工が可能となり、建設コストや維持管理コストの削減を図ることができる。

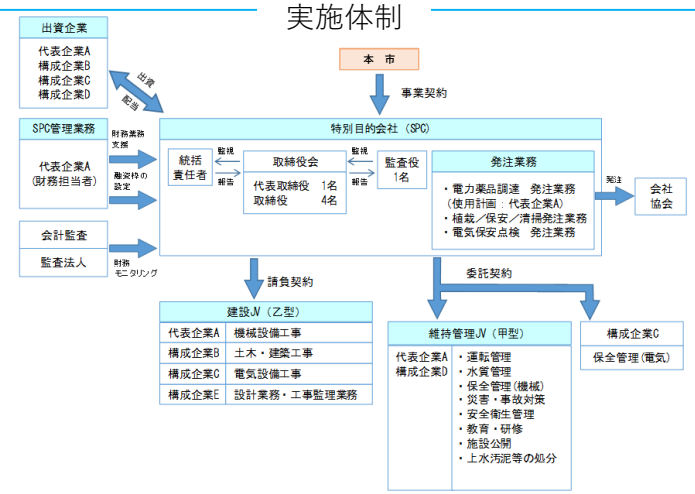
② 長期間の包括契約とすることで、事業者に浄水場の運用に関する専門的なノウハウが蓄積され、事業者の創意工夫によって、より効率的で信頼性の高い管理が期待できる。

③ 事業者との定期的な意見交換等を通して、事業者がもつ最新の技術やノウハウが得られ、本市の技術力の向上が期待できる。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　1,515,014人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　557.03km²（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　1,506,702人（令和3年度決算）

実施体制



● 取組のスケジュール

- 平成29年度からPFI導入に向けた可能性調査を実施し、令和2年3月に事業契約を締結。
- 令和4年度から工事着手、令和8年度から運転開始予定。

● 今後の展望

- 本市の要求水準を達成できるよう、事業者の運営を継続してモニタリングする。
- 本事業で得られた運転・保守管理などの技術やノウハウを活用し、他の浄水場においても効率的で高水準な運営を目指す。